

# 新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹

イラスト こみね さおり



第27号

自然科学系クラス…わかば9・10・11組

(担当者、原・松井・渡部・出井・木村)

## 「海の教室」学習風景その1

自然科学系クラスの学習内容は、主に、「磯の生物観察」・「太陽熱利用の実験」・「海水からの塩作り」などでした。まさに、三浦の自然素材そのものを満喫する学習内容といえましょう。

「磯の生物観察」では干潮の時間帯はタイドプール（潮だまり）も出現し、カニ・ヤドカリ・エビ等の甲殻類から、貝類、カイメン、フナムシや、ハゼ・スズメダイ等の魚類まで、意外に多くの生物が観察できたようです。また、手作りのミニ釣り竿を自作した人たちは、小魚を相手に奮戦していました。餌を使って生物をおびき寄せていた人も居たようです。海浜植物の観察をしていた人は、かなりの成果を上げていました。まともに期待したいと思います。



「太陽熱利用の実験」は、生憎<sup>あいにく</sup>1日目は曇天のため思うような成果が上がり、2日目が本番となりました。灼熱の陽光の下、各グループとも様々な工夫を凝らした装置で実験に望みました。事前の装置作りも熱が込められていたようです。結果はどうだったのか・・・色々苦勞と反省があったようです。果たして美味しいおやつは食べられたのか？学習発表会を楽しみにして下さい。

「海水からの塩作り」の人たちは、手堅い学習ぶりでした。特に、用具や道具にこだわり、事前準備から自分たちでしっかり用意してきたことは評価できました。海水を煮詰めるために土鍋を持参した人（鋭いですね）。塩といってもなかなか奥深いようです。海水を煮詰めると、思いの外多くの塩が採れるものです。そんなことも、実際に実験してみればじめて分かることです。世の中、環境を意識した自然塩ブームともいわれています。研究結果がどのようにまとまってくるのか。待ち遠しいものです。



撮影（塩作り） 松井直子 先生

## アサガオが咲きました



わかば11組で育てているアサガオ（ヘブンリーブルー）が咲いています。夏休み中に花の盛りを迎え、9月に入ってから、少々寂しい状態ですが、まだ健気に花を開いています。花はLL教室前に咲いていますので、よかったら見に行ってみてください。その名の通り青く美しい花色です。このアサガオは、歴代の「わかばクラス」が育てて来た花で、種子が毎年受け継がれてきました。そのアサガオが、今年も咲いてくれたわけです。ある意味、若葉台東中学校「わかばタイム」の歴史を表現してくれている存在といえます。去年の学習発表会（わかばアカデミア）では、採れた種を綺麗な袋に詰めて、「わかばクラス」の人たちが配布してくれました。今年も期待して良いのかな？楽しみですね。